

町道整備

湊川線 整備計画は

令和8年度完成を目指す



あさの しゅういち 議員
浅野 修一 議員

問 奥湊川地区においては、長年にわたり、町道整備を地区要望に挙げてきている。9月の崩落事故を受け、地区にとって町道整備は最重要課題である。このことをどのように受け止めているのか、町の考えを聞く。

答 金子まちづくり課長
町道湊川線は、奥湊川地区と、国道56号を結ぶ幹線バス路線であり、地域住民の生活路、および通勤通学路として、大変

重要な路線であると認識しており、町道湊川線の道路整備については、現在、奥湊川地区に特化して事業を行っている。今後においても、引き続き社会資本整備総合交付金事業での要望を行い、事業進捗を図っていく。

問 崩落事故は、今後も予測可能で、近隣住民の方からは不安の声を聞く。町道湊川線、全区画の拡幅整備工事は早期に必要と考える。整備計画はどのようなものか。また、あればいつ頃の完成か。

答 金子まちづくり課長
奥湊川地区の道路整備計画については、平成20年度から、測量設計に入り、町道大谷線の三叉路付近までを第1期工事と

して測量設計をし、平成22年度から、改良工事に着手し、平成29年度で第1期工事は完了した。その終点から、生活介護事業所などが手前

の橋梁、谷川橋までを第2期工事として着手し、事業計画は令和8年度完成を目指している。



集落の一部が孤立した町道湊川線の崩落現場（9月12日、早朝）

問 各業種に感染症対策の指導や、予防等への協力の徹底が重要だと思いが、どのように行っているか。

答 門田 産業推進室長
本年2月29日に、宿泊事業者と、意見交換の場を持ち、マスクの着用、消毒液の使用等、基本的な感染予防対策と併せて、宿泊者の風呂や食事時間の分散対応等をお願いをした。また、3月初旬から8月にかけて、業種に応じた面談や訪問、文書送達による協力要請、および消毒液やマスクの配布を行うなど、適宜感染予防対策を行ってきた。

コロナ対策 国の 全額負担で ワクチン接種 費用は

問 町内事業者に対して、今後も、補助金交付等の準備は万全か。

答 土居 海洋森林課長
町内事業者が、感染拡大防止策のために要した設備費や備品購入費、消耗品等の経費に対し3分の2を補助する制度を、今議会に補正予算で提案している。

問 保健所や医療機関との意思疎通は十分か。また、ワクチン接種についての情報はあらか。

答 佐田 健康福祉課長
幡多福祉保健所とは常に連絡を取り合っている。県の指導を仰ぎ、医療機関とも可能な限り情報の連携を行い、業務を進めている。関係機関との日頃からの相互理解は重要だと捉えている。

ワクチン接種費用は、国が全額負担。接種が開始された際にはスムーズに対応できるよう準備を進めている。